

令和5年7月11日

長野県知事 阿部守一 様

令和5年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	高沢産業株式会社	
住所	〒380-0823 長野市南千歳一丁目15番地3	
代表者名	代表取締役 高澤 曜宏	
区分	中間処理	最終処分
許可番号	2028003024	
処理施設 所在地 (複数ある場合はそれぞれ記入)	施設名	所在地
	東部工場	東御市加沢字東原1362番1
	軽井沢工場	北佐久郡軽井沢町大字追分字三ツ石1392-1
	長野工場	長野市大字大豆島字舟渡島5554番1他
担当部署	長野工場	
担当者名	関 孝雄	
連絡先	TEL	026-221-1226
	FAX	026-221-3721
	電子メールアドレス	takao.s@takasawa.co.jp
ホームページアドレス	http://www.takasawa.co.jp/	

1 産業廃棄物3R実践方針

最終処分ゼロを目指し、分別の徹底を行う。

アスファルト廃材、コンクリート廃材の分別受入の徹底。

空き缶、木片、軍手等混入している場合、分別をお願いし、先の異物を持ち帰って頂く。

当社において、アスファルト廃材はリサイクル率100%、コンクリート廃材も、鉄筋の分別をし鉄屑を扱っている業者に売却しているため、リサイクル率100%です。

重機による鉄筋分離作業の技術向上を目指す。

2 取組み目標

(1) リサイクル率目標値（中間処理の場合） (%)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
がれき類	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100

(2) 再生利用量目標値（中間処理の場合） (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
がれき類	100,000	78,500	84,500	86,200
全 体	100,000	78,500	84,500	86,200

(3) 最終処分量目標値 (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
がれき類	0	0	0	0
全 体	0	0	0	0

3 産業廃棄物管理体制

戸谷事業部長を統括管理責任者とし、適正管理を行う。
 戸谷事業部長は(財)日本産業廃棄物処理信興センターの修了証の取得者です。
 各工場長は、実務を行う。
 施設内及び周辺の清掃美化に努める。
 組織図は別紙。

*必要に応じ管理体制組織図等を添付する。

4 産業廃棄物の種類、処理量、処理方法、排出ガス、排出水等に関する情報公開

情報公開 : (財)日本建設情報総合センター建設副産物情報センター
 のホームページに掲載。

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
東部工場 軽井沢工場	有 無	怪我の心配があり計画無しです
	有・無	

6 中間処理・最終処分を委託する場合の処理業者（施設）現地確認計画（中間処理業のみ）

区分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	がれき類	委託無し。
最終処分場	がれき類	委託無し。

7 従業員教育（研修）計画

項目	教育（研修）計画内容
工場従業員、 運転手講習会	がれき類の分別について。 マニフェストの記載について。

8 排出事業者への協力要請

がれき類の分別について、その都度お願いする。
現場代理人に対して、電話でお願いする。

9 リサイクル技術向上に向けた取組み

リサイクル率100%をめざし、分別をお願いする。
空き缶、木片、軍手等異物については、持ち帰りをお願いする。
重機による鉄筋分離作業の技術向上を目指す。

10 不法投棄・不適正処理を発見した場合における協力体制

不法投棄、不適正処理と思われる廃棄物を発見した場合には、直ちに
関係機関に連絡を行う。

11 自社処理廃棄物の管理方法

自社処理廃棄物についてもマニフェストに準じた廃棄物管理表を作成する。
自社内で発生した、がれき類は分別を行い定められた保管場所に保管する。
保管場所は見やすい個所に看板を設置する。

12 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

代替素材への転換※1、環境認証制度※2の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

処理施設周辺の清掃美化運動を行い、地域の環境保全に努める
長野工場、東部工場では電子マニフェストJW-NETに加入済み、
他工場でも検討中です。

※1 化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い
素材や製品へ転換していくこと

※2 環境 ISO 14001、エコアクション 21 等